

平成 29 年 度

前 期 日 程

数 学

教育学部[数学(イ)]

地域科学部

医学部看護学科

応用生物科学部

問 題 冊 子

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 本冊子は 5 ページで、解答用紙は 5 枚である。
落丁、乱丁、印刷不鮮明などの箇所があった場合には、ただちに試験監督者に申し出ること。
3. 受験番号は、5 枚の解答用紙のそれぞれの指定箇所に必ず記入すること。
4. 問題は、大問 5 題である。
5. 解答は、解答用紙の指定箇所に記入すること。ただし、やむをえない場合は裏面にまわってよいが、表面に「裏に続く」と明記すること。
6. 問題用紙の余白は計算に用いてよい。
7. 解答用紙は持ち帰らないこと。
8. 問題冊子は持ち帰ること。
9. 大問ごとに、満点に対する配点の比率(%)を表示してある。

1 1000 から 2017 までの 4 桁の整数について、以下の問に答えよ。

- (1) 3 と 4 の少なくとも一方で割り切れる整数の個数を求めよ。
- (2) 1000 や 2002 のように異なる 2 種類の数字から成る整数の個数を求めよ。
- (3) 2017 のように異なる 4 種類の数字から成る整数の個数を求めよ。

(配点比率 20 %)

2 xy 平面上に原点 O を中心とした半径 2 の円 C がある。 $p > 2$ とし、点 $P(p, 0)$ を通り、円 C に接する 2 本の直線を考える。これらの直線と円 C との接点を点 $A(a_1, a_2)$ 、点 $B(b_1, b_2)$ ($a_2 > b_2$) とする。また三角形 ABP の重心を点 G とする。以下の問に答えよ。

- (1) 点 A と点 B の座標を p を用いて表せ。
- (2) 点 G の座標を p を用いて表せ。
- (3) 点 G が円 C の円周上にあるとき、 $\angle APB$ の大きさを求めよ。
- (4) p が $p > 2$ の範囲を動くとき、線分 OG の長さ d の最小値とそのときの p の値を求めよ。

(配点比率 20 %)

3 n を 3 以上の整数とする。半径 1 の円に内接する正 n 角形の面積を I_n 、外接する正 n 角形の面積を E_n とする。 m を正の整数とし、 $a_m = \cos\left(\frac{\pi}{3 \cdot 2^m}\right)$ とおく。以下の問に答えよ。

(1) $a_2 = \frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4}$ が成り立つことを示せ。

(2) I_n と E_n を、 n と三角比を用いて表せ。

(3) $\sin\left(\frac{\pi}{3 \cdot 2^m}\right)$ と $\tan\left(\frac{\pi}{3 \cdot 2^m}\right)$ を、 a_m を用いて表せ。

(4) 面積の比較により $\pi > I_n$ および $\pi < E_n$ となることを用いて、

$$3 \cdot 2^m \sqrt{1 - a_m^2} < \pi < 3 \cdot 2^m \frac{\sqrt{1 - a_m^2}}{a_m}$$

が成り立つことを示せ。

(5) (4) を用いて、

$$3(\sqrt{6} - \sqrt{2}) < \pi < 12(2 - \sqrt{3})$$

が成り立つことを示せ。

(配点比率 20 %)

4 a を実数とする。 xy 平面上の曲線 C を $y = x^3 + (a - 4)x^2 + (-4a + 2)x - 2$ とする。以下の問に答えよ。

- (1) 曲線 C は、 a の値に関係なく 2 定点を通る。その定点を A , B とするとき、点 A と点 B の座標を求めよ。
- (2) 曲線 C が点 A , 点 B とは異なる点で線分 AB と交わる a の範囲を求めよ。
- (3) a が (2) で求めた範囲にあるとき、線分 AB と曲線 C で囲まれた部分の面積 S を求めよ。
- (4) (3) の S について、 S の最小値とそのときの a の値を求めよ。

(配点比率 20 %)

5 数列 $\{a_n\}$ を

$$a_1 = 1, \quad a_2 = 1, \quad a_{n+2} = a_{n+1} a_n + 1 \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

によって定める。0 以上の整数 k に対して、 k を 3 で割った余りを $R(k)$ とする。例えば、 $R(5) = 2$ である。 $b_n = R(a_n)$ とし、 $s_n = b_1 + b_2 + b_3 + \dots + b_n$ とおく。以下の問に答えよ。

- (1) $b_1, b_2, b_3, \dots, b_8$ を求めよ。
- (2) 0 以上の整数 p, q に対して、 $R(3p + q) = R(q)$ が成り立つことを示せ。
- (3) $R(a_{n+1} a_n + 1) = R(b_{n+1} b_n + 1)$ が成り立つことを示せ。
- (4) $b_{n+4} = b_n$ が成り立つことを示せ。
- (5) 数列 $\{s_n\}$ の一般項を求めよ。

(配点比率 20 %)